

2022年度 日本工学院専門学校											
情報処理科 システム開発											
外国語											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田中 弥生			実務 経験	有	職種	外国語講師				
担当教員紹介											
IT関連やその他幅広い分野におけるビジネス文書の翻訳（日⇄英）に長年携わってきた。また、英語のコミュニケーション・スキルを使った業務（企業の海外展示会出展支援、留学生対応等）の経験も持つ。											
授業概要											
基本的な英文法の再確認から英語での意思伝達に至るまでをディクテーション・ライティングそして発表するという学習によって習得する。また情報処理に関するものばかりでなく様々なビジネスに使われる文章をを学習することで英語に対する苦手意識を払拭し、英語というツールを活用して海外への視野が広がることをねらいとする。											
到達目標											
以下の4点を習得することを目標とする。 1. 短い会話の内容や意味を大まかに理解し聞き取ることができる。 2. 基本的な英文法が理解できライティングの際使いこなせるようになる。 3. 語彙を増やし発表の際うまく取り入れることができる。 4. ナチュラルスピードで自分のライティングを発表することができる。											
授業方法											
ライティングに必要な英文をディクテーションする。授業の最後に発表するための準備としてナレーターと同じ速度とリズムで音読できるようにする。文法解説をした後、容易にライティングに取り組めるよう文法の演習問題をする。 日常英語をライティングし発表する。また、情報処理に関した資料を使ったリーディングも行う。											
成績評価方法											
試験・課題	80% 試験や課題を総合的に評価する										
成果発表（口頭・実技）	10% ライティングの発表で評価する										
平常点	10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する										
履修上の注意											
積極的に授業に参加してもらうため復習は必ず行うこと。授業中の私語や授業態度には厳しく対応する。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
英会話きちんとフレーズ100 / 必要に応じて資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	進行形 進行形を使った文章のリスニングができる 進行形の文法を理解できる										
第2回	進行形を使ったライティング 進行形を使った日常英語ライティングができる 発表することができる										
第3回	未来形 未来形を使った文章のリスニングができる 未来形の文法を理解できる										
第4回	未来形を使ったライティング 未来形を使った日常英語ライティングができる 発表することができる										
第5回	助動詞(1) 助動詞を使った文章のリスニングができる 助動詞の文法を理解できる										

2022年度 日本工学院専門学校	
情報処理科 システム開発	
外国語	
第6回	助動詞を使ったライティング 助動詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第7回	助動詞(2) 助動詞を使った文章のリスニングができる 助動詞の文法を理解できる
第8回	助動詞を使ったライティング 助動詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第9回	受動態 受動態を使った文章のリスニングができる 受動態の文法を理解できる
第10回	受動態を使ったライティング 受動態を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第11回	比較 比較を使った文章のリスニングができる 比較の文法を理解できる
第12回	比較を使ったライティング 比較を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第13回	不定詞 不定詞を使った文章のリスニングができる 不定詞の文法を理解できる
第14回	不定詞を使ったライティング 不定詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第15回	フリーライティング パラグラフライティングができる 発表することができる